

全国及び県学力学習状況調査を活用しよう！(中学校編)

4月21日に全国学力・学習状況調査と佐賀県小・中学校学習状況調査が小学5年生～中学3年生を対象に実施されました。この調査は子どもたちの学習内容や学習に対する意識等を把握分析し、その課題改善に役立てるものです。この調査問題を詳しく読むことで国や県が考える「学力」がどういうものかを具体的に確かめることができます。

また、主として「活用」に関する問題は、授業で取り組むことができるように作られています。思考力・判断力・表現力等の育成の筋道を実感するのに最適です。国語科に限らず、他教科の授業でも応用してみてもはどうでしょうか。

例えば、平成27年度全国学力・学習状況調査 中学校国語B2三では、【Aウェブページの文章】、【B日本の人口推移を表したグラフ】、【C雑誌の記事の一部】の3つの資料のうち、2つを選んで資料の内容を関連付け、それらの内容を適切に取り上げて自分の考えを具体的に書くことを求めています。(図1)

出題の趣旨 (中学校国語B2)

- ①複数の資料から適切な情報を得ること
(グラフや図表等から情報を取り出す)
(情報を関連付けて自分の考えをまとめる)
- ②自分の考えを具体的に書くこと
(字数や構成などの条件に応じて書く)
などができかどうかをみています。

どの教科でも意識した指導を！
思考力・判断力・表現力等は、どの教科においても育成することが大切です。
この問題を授業で取り組む場合には、グラフを読むポイントを示した補足資料を準備したり、グラフを文章化する練習をしたりします。また、総合的な学習の時間で行った関連の学習を想起させたり、マッピングに取り組みさせて発想を広げる練習をさせたりします。



図1 平成27年度全国学力・学習状況調査 中学校国語B2



チームで取り組む「学力向上」!

「一人の百歩より百人の一步」と言われます。先生方一人一人のやる気と行動が学年や学校で同じ方向を向き、協同実践を行うことが大きな成果につながります。そのためには、それぞれの立場で周りの人へ働きかけることが大切です。研究主任、学力向上対策コーディネーター、学年主任、教科主任…。それぞれが中心となってチームをつくり、連携して、学力向上をめざしましょう。そのチーム力を高める支援を、西部教育事務所が行います。ぜひチームに加えてください。そして、取組の第一歩として「西部型授業」を実践してみましょう!

《チーム学力向上》をつくるために
あなた(の学校で)は、どのようにしてチームを作っていますか。ご意見をお寄せください。
<mailto:seibukyouiku@pref.saga.lg.jp>
「WEST 学力向上だより」宛て。待っています。



西部教育事務所ホームページをご利用ください!

学力向上だよりでは、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の能力を育む『西部型授業』の内容を、より具体的に伝えるためにシリーズで連載していく予定です。

また、西部教育事務所ホームページには先生方に役立てていただきたいアイテムを多数掲載しています。

御活用ください。

西部教育事務所 HP <http://cms.saga-ed.jp/hp/s-kyoikujimusho/>から簡単にアクセスすることができます。

ここをクリックすると、「実践集」にアクセスできます。

西部型授業実践集